

## 私の主、私の神よ

(ヨハネ20・24～31)

### 一、トマスの新しい出発

本日の聖書箇所を含むヨハネの福音書20章には、イエスの復活の出来事が書かれています。20章の1節～18節が一つの出来事です。19節～23節がもう一つの出来事で、トマス以外の弟子たちにイエスが現れてくださったことが書かれています。24節～31節が三つ目の出来事で、特に、トマスにイエスが現れてくださったことが書かれています。19節～23節において、他の弟子たちがトマスに「私たちは主を見た」と言いましたが、トマスは「私は、その手に釘の跡を見、私の指を釘のところに差し入れ、また私の手をそのわきに差し入れてみなければ、決して信じません」と言っています。しかし、そのような深い疑い深いつまに主イエスは現れてくださり、平安あれと語りかけてくださっています。

最後の晩餐の時に、イエスは弟子たちに、「私の平安をあなたがたに与える」と言われました。その時、イエスは二つのことを実行しなさいと言われました。すなわち、神を愛すること、そして、隣人を愛することです。その後に、聖霊を受けなさいと言われました。その聖霊

はイエスキリストを思い起こさせてくださるお方であり、罪につき、義につき、裁きについて、示してくださいるお方であり、私たちを教え導いてくださるお方です。イエスは十字架に架かってください、復活した後には、弟子たちに平安あれと語られ、祝福し、聖霊を受けなさいと言われています。トマスに対しては平安あれと語られ、祝福してください、信じる者になりなさいと言われました。トマスは「私の主、私の神よ」と告白しました。トマスにとつての新しい出発です。また、主イエスは、見ずに信じる者は幸いですとも言われています。すなわち、今の私たちのことです。

今、この教会に集われている皆さんは、本当に、幸いな方々です。なぜなら、イエスさまを見ずに信じることができ、教会に来ていらつしやいます。教会に来るといふことも自分の力ではない、神が導かれなければできないことです。人という存在は、神が創造してくださいなければ、存在することはできません。自分は、この時にこの場所に生まれてくるという意思をもって生まれて来た人がいるでしょうか。そのような人は、ひとりもいません。皆さんは、確かに今存在し、主イエスを信じていることが出ています。本当に神の恵みです。神に感謝しましょう。

### 二、人生の新しい出発

人は、人生の中で、新しい出発ということは何度か経験します。人が生まれた時、それは意識しようが意識しませんが、新しい出発です。学校に入学した時も新しい出発です。社会人になった時、新しい出発です。キリスト者にとつての新しい出発は、イエス・キリストを救い主として信じ受け入れた時です。

### 三、私の新しい出発

私は、学生時代、ギデオン協会の聖書を通して、イエス・キリストを受け入れることができました。求道中において、イエス・キリストを信じるることによって、約二千年前の十字架が、自分の罪を贖うことができるという理解でございました。しかし、聖書を読んでいくうちに、神は時間をも創造され、支配されているお方であり、初めであり終わりであるお方ということが理解できました。全知全能の神のみが人間の罪を赦すことができること、そして、時間を超越しておられる神のみが人間の罪を贖うことができるという理解しました。私は家族の中で、初穂でしたから、その後、祖母、父と救われました。神の恵みです。

### 四、新しく出発をした者

イエス・キリストを信じ歩んでいくキリスト者にとつて、その心の状態を保ち維持することは大切なことです。困難な状況の中で、真つ暗闇の中に

るような時にも、かすかな光が見えてきますが、そこに神はいらつしやいません。

列王記第一18章に、エリヤとバアルの預言者の対決が描かれています。しかしバアルの預言者に勝利したエリヤは、イスラエルの王の妻イザベルの「もしも私が、あすの今ごろまでに、あなたのいのちをあの人たちのひとりのいのちのようにしなかつたら、神々がこの私を幾重にも罰せられるように」との脅しに恐れて、神の山ホレブまで逃げて行きました。エリヤはうつ状態になっていました。神が現れてくださいました。様々の現象の後に、かすかな声が聞こえてきました。神はエリヤに任務を与えられ、エリヤの後継者としてエリヤに油を注ぎなさいということから命じられました。

困難な時にこそ、イエス・キリストにあつて、チャンスが訪れる時です。新しい出発のチャンスです。聖書に出てくる人物は、新しい出発を体験しました。困難な状況にあつても諦めず、祈つていくとき、神は、その困難を乗り越えさせてくださるか、また、新しい別の道を備えてくださいます。聖霊の語りかけを受けて歩んで行きましょう。イエスは、今でも生きて働いてくださっています。イエス・キリストにあつて、希望は失望に終わることはありません。主イエスと共に歩んで行きましょう。